

## 活動の記録

5月15日(日)曇

天気予報では雨の確率が高く、傘をさしてのハイキングになるかと思っていましたが、運よく青空も見られるお天気となり、予定どおりに公開行事として初夏の清和県民の森と豊英島を楽しむハイキングを行うことができました。ハイキングにご参加いただいたのは、北は市川市から南は富津市にお住いの11歳から83歳の12名です。午前中は林道を中心に約4キロメートルを歩き、午後は豊英島をご案内しました。ご参加の皆さんには、キビタキのさえずりを聞きながら、房総丘陵の新緑の季節を楽しんでいただけたのではないかと思います。ハイキングの様子は記事の方をご覧ください。(福島)

参加者は、秋元、伊藤、鶴沢、大原、苅米、久我夫妻、坂本、清水、福島、細谷、村野の会員12名と、一般参加の12名(竹下さん、森田さんはこの日に入会)でした。



### ○林道ハイキングの案内

清和県民の森一帯は前日の雨に洗われた新緑が鮮やかで、見渡す限り緑一色でした。

一般公開行事の林道ハイキングには女性陣を含む遠来のお客さまを大勢お迎えして華やいだ雰囲気ですスタートしました。今回は県北部から参加の方々を意識して、県南部との植物相の違いを強調し、この地域の自然に興味を持って貰いたいと思いました。さて、どこまで伝わったでしょうか。

樹木の花が目立ったのは咲き進むと白から赤に色変わりするニシキウツギとジャケツイバラの鮮やかな黄色でした。楽器のサクソフォンに似たオオバウマノスズクサ



モウセンゴケ

も咲いていて、撮影者の人気でした。湧き水が滴る岩壁に生えた食虫植物のモウセンゴケにも人だかりが出来ました。ツクシショウジョウバカマは見られませんか?との質問を受けた時、林道の切通し斜面の岩壁に目をやると、なんとその場所に10株以上が点在していました。まだ新天地に進出したばかりの若(参考)ツクシショウジョウバカマ 2014.4.1



い群落の様でしたが、花殻の付いた株が一つありましたから来春はもっと沢山咲くと思われます。花の時期にもう一度来ようと仲間同士で相談している声が聞こえました。林道工事で人工的に削られた裸の岩場に苔が生え、次第に自然の植生が回復して、ついに絶滅危惧種まで生えるようになったと思うと数十年の経過に感慨深いものがあります。

十分な案内は出来ませんでした。林道の交通量が以前に比べて随分増えている中で全行程を時間内に事故無く歩いて安堵しました。ペース配分にご協力ありがとうございました。緊急時対応の伴走車、説明の補足など全会員のおもてなしの心も伝わったと思います。(坂本)



集合は木のふるさと館駐車場



淵ヶ沢トンネル



林道の切通し



揺れる吊り橋渡り豊英島へ



島内散策の留意事項



兜の緒を締め出発

### ○林道ハイキングに参加して

坂本さんの解説を聞きながらの散策、(エゴノキ、ミツバツツジ、ヤマツツジ、マルバウツギ、コゴメウツギ、ニシキウツギ、ドクウツギ、コケリンドウ、シラン、モミジイチゴなど観察。ジャケツイバラを観ると綺麗と歓声。昼食、木のふるさと館で、昼食後千年の森へ移動、二班に分かれ約1時間観察会。クロモジの枝を頂き帰宅。曇り時々青空でしたが五感を感じる楽しい時間を過ごせました。(細谷)

### ○5月の花と実

何度も参加しているハイキング兼観察会ですが、なかなか植物名が身についてきません。今回も先輩諸氏の解説に耳を傾け、この時期にしか観察できない植物を堪能しました。

まず目についたのは、集合場所(駐車場)の枝にびっしりと咲いたエゴノキの花、そのわきにはアワブキの円錐花序がありました。まもなく開花しそうでした。淵ヶ沢のトンネルを抜けるとマルバウツギの白、崖にはヤマツツジのオレンジが目立っていました。ニガイチゴでしょうか未熟な実がたくさんついていました。四阿まで進むと近年になく、色の褪せていないジャケツイバラが黄色の花を咲かせていました。前日が雨模様でしたのでより一層花が輝いていたように思えました。大きな白い花のホオノキは橋から見下ろす形で見ることができました。同定が難しく、いつも悩ましく思うのがニシキウツギとハコネウツギです。白色、ピンク色、赤色の花が枝先いっぱい咲いていました。どうもニシキウツギのようです。今回初めて見たツクシショウジョウバカマの花時はすでに過ぎ、蒴果ができていました。

その他ハイキングコースで観察できたもので印象に残ったのは、コゴメウツギ、テリハノイバラ、ノアザミ、ニワゼキショウ、フサザクラ、ヤマグワ、ヤマボウシ、オオバウマノスズクサ、マルバアオダモ、タツナミソウ、ツボミオオバコ、ウツボグサです。ほとんどの花は見頃だったようです。色鮮やかに咲いていました。



エゴノキ



マルバウツギ



ヤマツツジ



ホオノキ



ジャケツイバラ

ニシキウツギ

コゴメウツギ

タツナミソウ

豊英島で確認した花と実は、エゴノキ、ヤマボウシ、ホオノキ、オオバノトンボソウ、ヤマツツジ、フタナ、ツチアケビ、ニガイチゴです。ツチアケビはすでに食害に遭っていましたが残った花のため防護用の金網を掛けました。ホテイ岬の竹にも比較的新しい食痕がありました。

豊英島ではシカの食害で絶滅の危機にあるアオキをテーマ（千年の森便りNO. 205, NO212）にした再生のため、昨年4月にアオキの挿し木苗を2か所に植え付けています。狭いほうの保護柵内では2株のアオキが元気に育っていましたが、広いほうの保護柵内では確認できませんでした。（秋元）



食害のツチアケビ

### 〇センサーカメラの動物



ニホンジカ

キョン

ニホンザル

キジ♀

センサーカメラが3台となり島に上陸してくるニホンジカの行動がわずかながら分かってきたように思います。禁断の岬への分岐点では今回記録がありませんでした。ホテイ岬から上陸し、千年広場経由で吊橋着岸点、ホコラ山下の平地あたりを行動しているようです。禁断の岬の水辺にも糞の痕跡がありますので行動範囲には入っているようですが、今回は行動範囲から外れたようです。



キジ♂

上陸の様子をとらえられるように、次回活動日にCAM3をホテイ岬の水辺付近に移したいと思います。水辺には釣り船も多くいますので設置にはちょっとした工夫が必要です。

設置期間：4月17日から5月15日まで

※日数は確認した日数です。同じ日に複数回記録されても1日としています。

CAM1：吊橋着岸点付近

ハクビシン	15日	夜間	ニホンジカ	3日	昼間・夜間
キョン	4日	昼間・夜間	ニホンザル	1日（5月8日）	昼間
アライグマ	1日（5月3日）	夜間			
キジ	♂11日	♀3日	カケス	2日	昼間

CAM2：ホテイ岬への分岐点付近

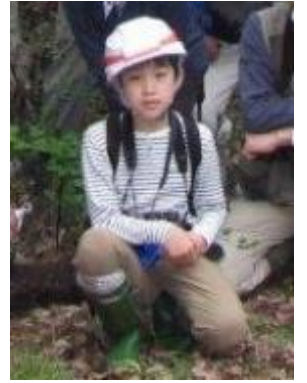
ハクビシン	3日	夜間	ニホンジカ	6日	昼間・夜間
キョン	3日	昼間・夜間	アライグマ	1日（5月3日）	夜間
キジ	♂1日（4月21日）	昼間	カケス	1日（4月22日）	昼間

（秋元）

## 清和県民の森と豊英島を楽しむハイキングに参加して

木更津市 11歳・小6 平野智隼（ひらのちはや）君

今日は、清和県民の森からのハイキングに参加させていただきました。コースは主に林道を通りました。解説してくれた会員の皆さんは多くの種類の植物を知っていて、全て教えてくれました。コースには多種多様な植物があり、雑草から珍しい植物、食虫植物までもがありとても勉強になりました。ここまでが午前中のお話です。午前中たくさん歩いた後、持ってきたお弁当を広場で食べ、それから午後は豊英島に行きました。



智隼(ちはや)君

グラグラした吊り橋を渡り、たくさんの植物や動物などがある初夏の豊英島に行きました。まず、広場に集まり、二手に分かれて島を散策しました。鹿の糞や、慌てて逃げていったような鹿の足跡などがあり、とても自然が溢れた場所でした。

鹿が食べたり角を研いだりした木があって、一部はさくで囲ってありましたが、鹿は飛び越えて木を食べてしまったりしているところもありました。

希少な植物をみて楽しい一日になりました。機会があればまた来たいです。

## 清和県民の森と豊英島を楽しむハイキングに参加して

富津市 森田弘美さん

初めて参加させていただきました。午前中の清和県民の森散策ではハコネウツギだと思っていたのがニシキウツギだったこと。千葉にもショウジョウバカマ(ツクシショウジョウバカマ)が咲くということ、オオバウマノスズクサ(大葉馬の鈴草)など見たこともない花を観察できました。



オオバウマノスズクサ



ホテイチク

午後からの豊英島では定員10名と言う吊り橋。晴れていたら絶景だろうなと思いました。全国各地で問題になっているナ

ラ枯れが豊英島でも深刻さを増していることを知り、定期的にコナラの木を伐採されていること。島にいる鹿によって春蘭やエビネ、ホテイチクの竹の子なども食べられてしまっていること。また、鹿は泳いで島へ渡ったのだと聞いてびっくりです。それ以外にも色々…ほんとに沢山知ることができ感謝しています。小さな小さな豊英島の自然がこれから先もずっと、千年先まで守られると良いな。と思いました。

参加して良かったです。有意義な1日でした。ありがとうございました。

## 清和県民の森と豊英島を楽しむハイキングに参加して

船橋市 桐澤凜さん

元々ハイキングが好きだし、動植物を見るのも好きなので今回は参加しました。

午前中、清和県民の森内のハイキングは植物を見ながらで、天候も暑くも寒くもない中をゆっくり歩くことができ気持ちがよかったです。持参した植物図鑑で樹木の種類を確認しながらでも余裕のあるペースで歩きました。

午後に入った豊英島は、あまり人が手を加えない自然の中ということで少し鬱蒼としていて県民の森とは少し違う風景を楽しめました。房総の森の、今まで知らなかった部分を見られた気がしてためになる1日でした。今度は生き物の図鑑も持って参加したいと思います。

ありがとうございました。

## お知らせ

### ○次回活動日は6月19日（日）です

二ホンジカの生息状況調査、水辺の環境整備、駐車場周辺の草刈り、メンバーがそろえば危険木伐採も予定しています。作業が多くなりますので積極的にご参加をお願いします。

島内はナラ枯れで枯死したコナラが多数あります。島に入る際は危険防止のためにヘルメットの着用をお願いします。

### ○新入会員紹介

3月の千年の森活動に体験参加された習志野市の 清水信幸さんが新年度の4月から入会されました。また今回の公開行事に参加された、市川市の竹下晃平さん、富津市の森田弘美さんのお二人が今月入会されました。よろしく願いいたします。

#### 入会しました。よろしく願いいたします。

4月付けで新たに入会させていただきました清水と申します。皆様どうぞよろしく願いいたします。

私は山歩きが趣味なのですが、コロナ禍の影響で遠出ができなくなり2年ほど前から仕方なく県内の低山歩きにシフトしていました。最初の頃は標高400mにも満たない低山だと侮っていたのですが、豊英島の近くにそびえる高宕山（標高330m）に通うようになり驚くほど豊かで多様な自然をもつ房総の山の魅力にハマりました。

そんな頃にこの会のことをホームページで知りました。



林道観察で撮影したジャケツイバラ

ホームページに掲載されている「千年の森便り」のバックナンバーを拝見し、豊英島の持つ多様な自然環境を知り、かつその環境の保全活動に尽力されている会の活動に感銘を受けました。

3月の活動日に体験で参加させていただき、その場で入会の申し込みをした次第です。

4月の総会は持病の悪化による入院手術等で参加できず申し訳ありませんでした。

1ヶ月半も体を動かさなかったら相当体力筋力が落ちている自分にショックを受けたところですが、今後徐々に復帰にむけて努力していきたいと思っています。先日開催された清和の森ハイキングは期待以上に楽しむことができました。

一日も早く皆さんに名前を覚えてもらうべくできるだけ参加させていただきますのでどうかよろしく願いいたします。清水信幸@習志野市

### ○山口会員退会

山口さんが退会されました。体調が思わしくなくご自宅の市原市から豊英島までの道のりが難しくなったとのこと。

山口さんは古くからの会員で、これまで会には多大の貢献をいただきました。なくなった根本さんとお二人で、地味な裏方仕事を笑顔で引き受けてもらいました。改めてお礼を申し上げます。クロモジ茶や栗の渋皮煮の差し入れも、毎年の楽しみでした。

なお、今回の退会に際しては、丁寧な挨拶状と多額の寄付までいただきました。重ねてお礼を申し上げます。今後も機会がありましたら豊英島にお立ち寄り、その笑顔をみせてください。（伊藤）